

## 激動の中国石材業界！！

### JSC 貿易部ニュース 中国編



皆様お世話になっております。

今年も早や師走。振り返ってみると、日本では元号が「平成」から「令和」に変わり、日本代表チームの活躍が列島中を感動の渦に巻き込んだ2019ラグビーW杯も大成功に終わり、次は2020TOKYOオリンピックへ向けてまっしぐらという感じの、何かと明るい話題の多かった一年なのかなぁ～と思います。

弊社でもラグビー日本代表チームにあやかり、2020年を「ONE TEAM」で乗り越えるべくスクラムを組んで当たれるプランを色々準備中です（笑）

しかしながら、国内経済に目を向けると、景気の良い業界も中にはあるものの全体としては依然低成長のまま、デフレからの脱却もままならない状態が続いております。

墓石業界でも増税の反動か？ 11月以降は少々お寒い状態が・・・

他方、石材業界でも縁の深い重要な貿易相手国・中国に目を向けると、こちらにも急激な経済成長の歪か、アメリカとの貿易摩擦の影響か、国内景気は失速気味、おまけに香港のデモも終息が見えず、何やら難しい状況になってきているように思います。

そして、2019年の中国石材業界を振り返ってみますと、こちらにも何かと難しい出来事の多い一年でした。相次ぐ丁場の停止や環境検査による工場閉鎖など、こちらにも本当に良いニュースのない一年だった様に思います。仕入部門として日々中国と関わりながら仕事をする私たちにとっても、今年中国石材業界の変化は、これまでになく大きなものでした。

環境保護政策の影響から、いま現在福建省では正式な許可を得て稼働している丁場は「ゼロ」の状態です。いま採掘されているのは、いわゆる〇掘（ピー）か、土地造成の過程でスポット的に出た石（いわゆる継続性の無い石ですね…）の取得が許可されている案件のみとなっています。

そして、工場の方に目を向けますと、来年以降一段と廃業や日本向けから国内向けに転業する工場が増えるものと思われます。そして、工場数の減少にともない製品価格も上昇傾向が鮮明になってくるのではないかと予想しております。

例えば外柵工場。G623の原石在庫量に限りが見えてきて原石価格が高騰しています。外柵工場の調達コストや生産コストは上昇の一方ですが、直近は増税の反動からか11月初旬に日本からの注文が突然少なくなり、中国側も値上げのタイミング逃したような感じでしたが、年明けからの値上げを通知してくる工場も出始めてきました。来年の春節（旧正月）以降は、原石価格が高騰している石種を中心に価格改定の申し入れが殺到しそうな雰囲気です（恐怖…）

ここで旧正月のスケジュールのお知らせです。2020年の旧正月は、例年より早く「1月25日」です。日本の年明けに入れた注文は、中国の休み前に生産・出荷することが難しい暦になっています。本格的に再開するのは「2月10日」以降になりそうな感じですので、値上げの件もありますが、お彼岸での建墓を予定されているお仕事に関しましては、年内にご発注を頂けると幸いです。

※石井地区の外柵工場あたりでは、1割～1.5割くらいの値上げの噂ありです！（噂）

御得意先様各位

来年<2020年>の  
**中国春節スケジュール**

**2020年の中国春節(旧正月・元日)は1月25日です**

中国の各工場は1月初旬より職人が帰郷し始め、1月11日～2月8日(元宵節)間は完全に**生産停止**となります。2月8日以降～2月20日過ぎまでは職人も出陣せず、フル生産できません。春節後の配給でも見直しはかろうじて間に合うとは思いますが、春節明けのこの期間は、中国各工場への短期間の発注が集中することが予測されます。表品の品質及び納期への影響を考えると、来春後発注商品の発注につきましては、出来る限り2019年内、12月半ばまでの発注をお勧めいたします。

特に今年に懸念しておりますのは、1月以降の発注では春節後の注文に間に合わない可能性が高い事、物内の割増発注を強くお願いする次第です。

なお、特に彫刻品・手組工製品を生産している工場は、旧正月明け後の出荷が遅く、納期が不確定になりますので、十分に留意ください。非常事態ですが、何卒宜しくお願いいたします。

2020年1月・2月 中国各工場スケジュール

2020年1月							2020年2月						
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
6	7	8	9	10	11	12	2	3	4	5	6	7	8
13	14	15	16	17	18	19	9	10	11	12	13	14	15
20	21	22	23	24	25	26	16	17	18	19	20	21	22
27	28	29	30	31			23	24	25	26	27	28	29

△…ほぼ生産状態    ▲…減産状態    ✕…出荷無し

※上記あくまで現時点での予定であり、変更の可能性がございます。詳細につきましては各営業担当にお問い合わせください。

JSC 日本石材センター株式会社 大阪営業所  
TEL 06-6788-9105

お早目の準備をお勧めいたします。

さて、省内での石の採掘がことごとくストップされた福建省・石の郷の石屋さん達。いま彼らは国内のあちこちに足を運び新石種の開発に躍起です。G623やG603の採掘停止と在庫減少を受け国内でも需要の多い白御影の新石種を探し回っています。その様子はまさに、「東に良い石が出たと聞けば殺到、西に良い石が出たと聞けばスッ飛んでいく」といった感じです。日本向けは需要増を見込めませんが、国内の板石や縁石などの需要はまだまだ旺盛で、その材料確保に彼らは必死です。中にはどうなるかわからない石も多くありますが、省外の石の開発狂奏曲は当分続きそうです。

あまりにもネガティブな話が続きましたので、話を変えまして、ここでひとつ明るい話題を！！

来年2020年は『ねずみ年』です。『ねずみ年』は繁栄の年回りとの事。経済だけでなく世の中も盛り上がる事が統計上出ているそうです。そう言われるとオリンピックもあるし世間の盛り上がりはピークを迎えるかもですね。

では、ここで石材業界にも盛り上がっていただくために、来年の本命石種を一足先にひとつだけ紹介させて貰います。その名も『吉林白』

サンプルをご覧いただいても分かりますが、白系の非常に上品な石で、安定して供給が見込める注目石種です！！

現在冬場で降雪のため作業は止まっていますが、今後も継続して採掘出来る正式許可のある丁場です。



↑↑↑製品はこんな感じです！！

**G623外柵製品の品質にお悩みのお客様へ、日本石材センターからのご提案です。**

加工ミス減らせないかなあ… 梱包丈夫にできないかなあ…

**どうなってるの？最近の福建省の外柵工場は??**  
G623と福建省外柵工場の現状

- ・丁場の閉鎖により生産量減少
- ・原石価格がどんどん上昇
- ・深刻な長尺材不足
- ・統合的な要因による品質低下
- ・注文遅れによる転売、納期増加
- ・現場の土気や改善意欲の減退

代替になるような石や工場ってないの？  
例えばこんな条件で…

価格はG623並み！ 石目はスッキリ白御影であ、吸水率は少なめ、長尺もないとね。  
**福建省の工場よりは製品が良くない！**  
梱包も福建省より丈夫でないとな。  
あと選イテで船便で届けられる。これ大切ね。  
でも、流石にそんなに**都合のイイ石や工場は無いかな…**

**社長！実は、あるんです！**

中国・吉林省産 白御影 **吉林白**

G623に代わる外柵製品を日本石材センター株式会社からご提案

見た目だけでなく 材質性能も G623と同等		吉林白	G623
		吸水率	0.22 / 0.186
		圧縮強度 MPa	160 / 104

"Made By 大連工場"の外柵製品(原石も作れます)

実は冒頭の丁場の写真も吉林省の丁場の一つです。こんな丁場があるなんて、中国は実に広いですね！！

追加でもうひとつ、東日本エリアのお客様にはやや馴染みが薄いかもしれませんが、大連地区の工場も簡単にご紹介を！！

弊社では、この「吉林白」、福建省での製品加工だけでなく、大連地区の工場でも生産お届けしてまいります。上の写真がそうです。東日本エリアに関しましては、まだまだ大連製品の流通量が少ないためデリバリーの面でご不便をお掛けしますが、加工品質は安定しています。2020年の目玉として是非ご注目下さい。(詳しくは担当営業員にお尋ね下さい！)

最後に、今年も残り少なくなりましたが、皆様方には一年間大変お世話になりました。JSC貿易部と致しましても、この場をお借りして一年のご愛顧にお礼申し上げます。

「2020」オリンピックイヤーも、仕入れに、メルマガにと皆様のお役に立てるよう頑張ってお参りますのでどうぞ宜しくお願い致します。